

### 3 財別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

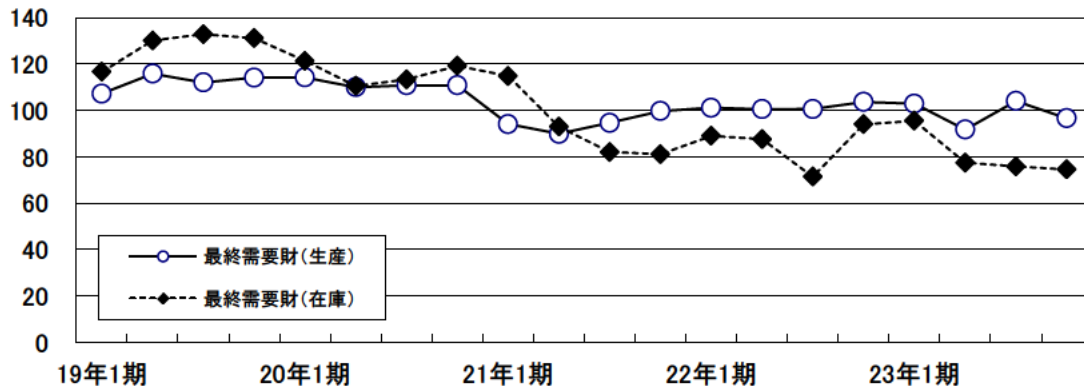
#### 1 最終需要財

平成 23 年の最終需要財の生産指数は 98.7 で、対前年比 2.9%低下しました。（表 4）

四半期別にみると、1 期 102.9（対前期比 0.7%減）、2 期 91.7（同 10.9%減）、3 期 104.0（同 13.4%増）、4 期 96.6（同 7.1%減）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 81.4 で、対前年比 5.1%低下しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 95.5（対前期比 1.6%増）、2 期 77.4（同 19.0%減）、3 期 75.8（同 2.1%減）、4 期 74.5（同 1.7%減）となりました。（表 10）



#### 1-1 投資財

平成 23 年の投資財の生産指数は 113.9 で、対前年比 18.0%上昇しました。（表 4）

また、在庫指数の年平均は 88.7 で、対前年比 3.1%上昇しました。（表 6）

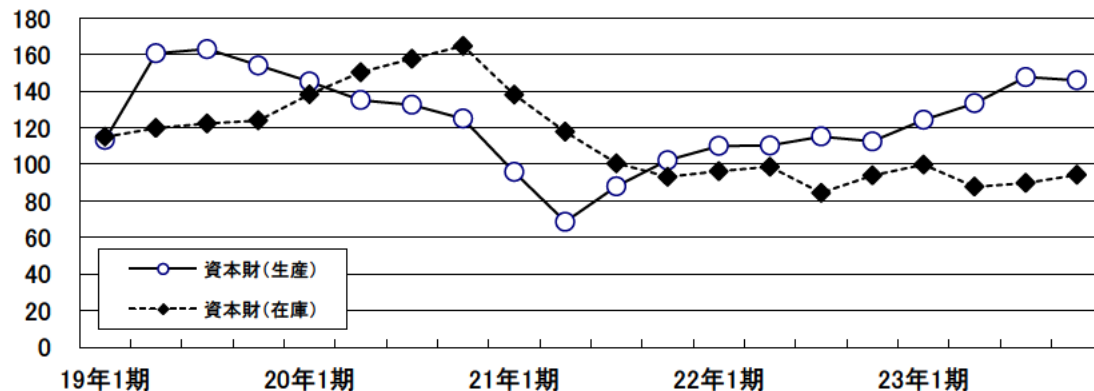
##### 1-1-1 資本財

平成 23 年の資本財の生産指数は 137.6 で、対前年比 22.7%上昇しました。（表 4）

四半期別にみると、1 期 124.3（対前期比 10.5%増）、2 期 133.4（同 7.3%増）、3 期 147.7（同 10.7%増）、4 期 145.9（同 1.2%減）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 93.0 で、対前年比 0.5%低下しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 99.8（対前期比 6.3%増）、2 期 87.7（同 12.1%減）、3 期 89.8（同 2.4%増）、4 期 94.2（同 4.9%増）となりました。（表 10）



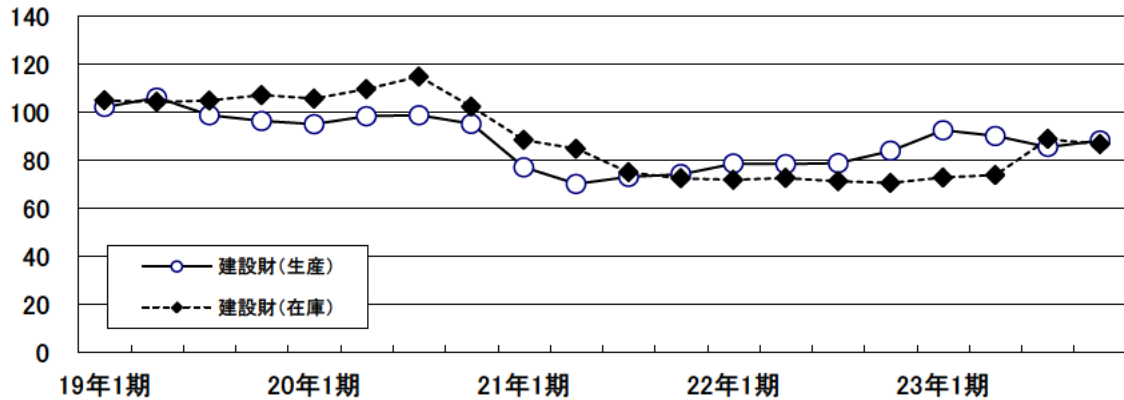
### 1-1-2 建設財

平成 23 年の建設財の生産指数は 89.0 で、対前年比 11.3%上昇しました。（表 4）

四半期別にみると、1 期 92.5（対前期比 10.3%増）、2 期 90.1（同 2.6%減）、3 期 85.5（同 5.1%減）、4 期 88.2（同 3.2%増）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 80.7 で、対前年比 12.7%上昇しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 72.8（対前期比 3.1%増）、2 期 73.9（同 1.5%増）、3 期 88.8（同 20.2%増）、4 期 86.7（同 2.4 減）となりました。（表 10）



### 1-2 消費財

平成 23 年の消費財の生産指数は 89.5 で、対前年比 14.6%低下しました。（表 4）

また、在庫指数の年平均は 73.6 で、対前年比 14.0%低下しました。（表 6）

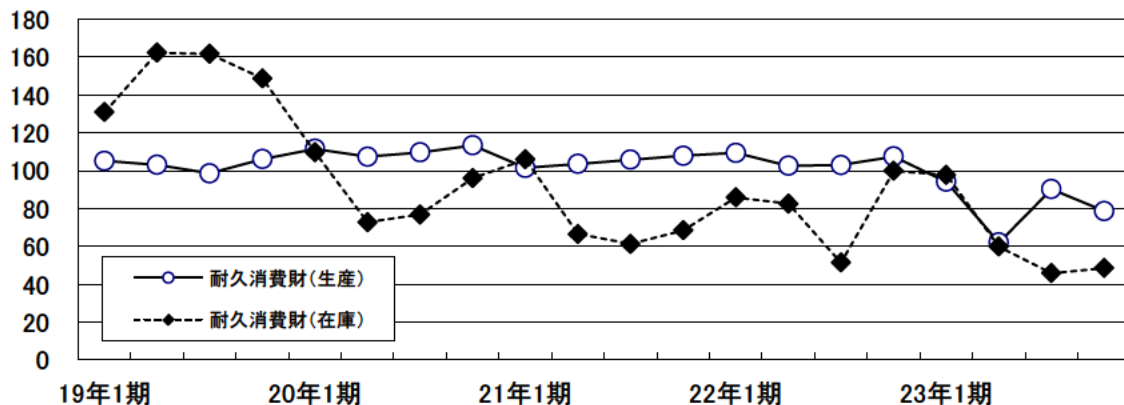
#### 1-2-1 耐久消費財

平成 23 年の耐久消費財の生産指数は 81.2 で、対前年比 23.2%低下しました。（表 4）

四半期別にみると、1 期 94.1（対前期比 12.4%減）、2 期 62.0（同 34.1%減）、3 期 90.2（同 45.5%増）、4 期 78.6（同 12.9%減）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 65.6 で、対前年比 19.6%低下しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 97.7（対前期比 2.1%減）、2 期 59.8（同 38.8%減）、3 期 45.8（同 23.4%減）、4 期 48.5（同 5.9%増）となりました。（表 10）



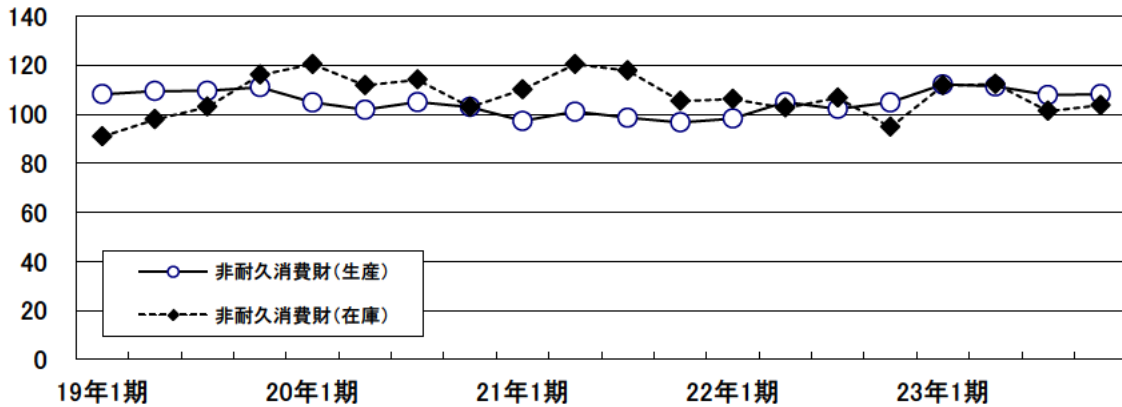
### 1-2-2 非耐久消費財

平成23年の非耐久消費財の生産指数は109.8で、対前年比7.0%上昇しました。（表4）

四半期別にみると、1期112.1（対前期比7.0%増）、2期111.3（同0.7%減）、3期107.8（同3.1%減）、4期108.1（同0.3%増）となりました。（表8）

また、在庫指数の年平均は107.0で、対前年比4.5%上昇しました。（表6）

四半期別にみると、1期111.6（対前期比17.8%増）、2期112.2（同0.5%増）、3期101.2（同9.8%減）、4期103.6（同2.4%増）となりました。（表10）



## 2 生産財

平成23年の生産財の生産指数は98.0で、対前年比5.2%低下しました。（表4）

また、在庫指数の年平均は116.9で、対前年比4.7%上昇しました。（表6）

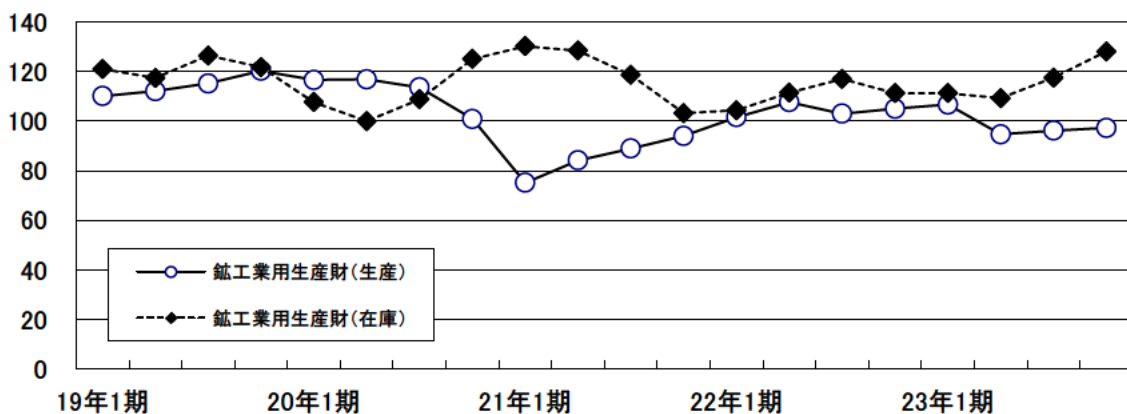
### 2-1 鉱工業用生産財

平成23年の鉱工業用生産財の生産指数は98.5で、対前年比5.6%低下しました。（表4）

四半期別にみると、1期106.6（対前期比1.6%増）、2期94.6（同11.3%減）、3期96.1（同1.6%増）、4期97.2（同1.1%増）となりました。（表8）

また、在庫指数の年平均は116.4で、対前年比4.9%上昇しました。（表6）

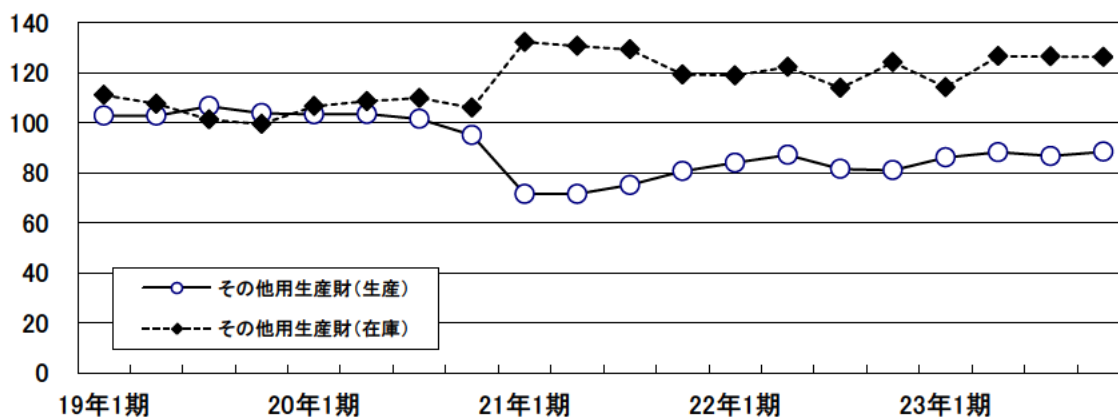
四半期別にみると、1期111.2（対前期比0.0%横ばい）、2期109.2（同1.8%減）、3期117.4（同7.5%増）、4期128.0（同9.0%増）となりました。（表10）



## 2-2 その他用生産財

平成23年のその他用生産財の生産指数は87.3で、対前年比4.7%上昇しました。（表4）  
四半期別にみると、1期86.1（対前期比6.3%増）、2期88.2（同2.4%増）、3期86.7（同1.7%減）、4期88.4（同2.0%増）となりました。（表8）

また、在庫指数の年平均は123.3で、対前年比3.0%上昇しました。（表6）  
四半期別にみると、1期114.2（対前期比8.1%減）、2期126.6（同10.9%増）、3期126.5（同0.1%減）、4期126.3（同0.2%減）となりました。（表10）



### 「季節調整」 とは？

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、年末年始のある12月、1月、ゴールデンウィークのある4、5月、お盆休みのある8月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により1年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。これを「季節調整」といいます。